

株式会社ティービーエム

<注目事業:フード・グリーン発電システムの概要>

脱炭素を実現する SDGs エネルギー技術

水を守り、グリーン電力を生み出す！

製品・技術の名称

フード・グリーン発電システム

システムの概要

排水浄化の過程で分離回収する排水油脂から生まれる
「都市型バイオマス発電システム」

技術ノウハウ

- ① 飲食店や食品工場などの排水浄化の過程で、排水油脂を分離回収する技術
- ② 水分含有率や酸価が高く、不純物も多い、排水油脂を発電燃料化する技術
- ③ コージェネレーションを活用する燃料製造&バイオマス発電所の技術
- ④ グリーン電力を市街地やイベントに直接供給する発電車の技術

飲食チェーン
レストラン街
調理排水の浄化



排水油脂の回収
(都市型バイオマス)



バイオ燃料
SMOの製造

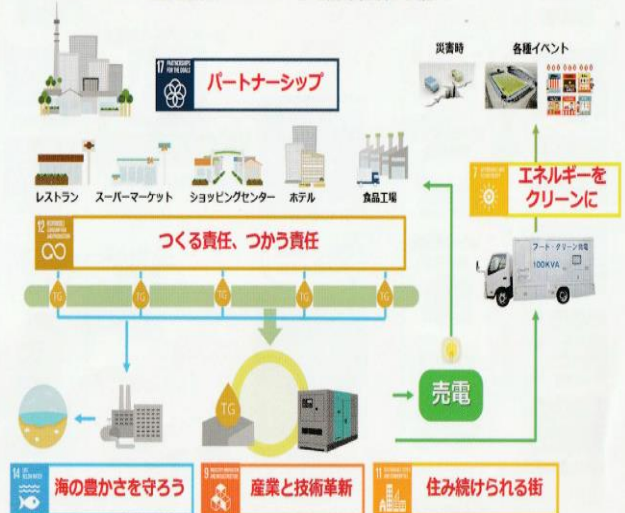


発電&燃料供給
CO2削減



特徴・メリット

脱炭素化、SDGs、地域循環経済に貢献！



<課題解決型環境ビジネスとしての特徴、先進性>

- ・フード・グリーン発電システムは、同社の排水管理サービスを軸に、誕生したビジネス。
- ・排水管理サービスも、飲食店等の店舗のリスク診断を行った上で、店舗に最適なサービスを提案するソリューション型環境ビジネス。飲食店の配管詰まり削減、汚泥発生量削減、排水油脂の有価買取、管理コスト低減といったメリットを飲食店は得られる。
- ・また、従業員自らがグリストラップの清掃をしている店舗の場合、バイトの残業が減った、悪臭が激減した、労働環境が良くなった、といったメリットも得られる。
- ・今後は地域資源活用の最大化に向けて、食品工場の排水油脂および自治体協力のもと一般市民の廃食用油等の回収と、新たなバイオ燃料製造にも取り組む。
- ・2020年1月にビジネスモデル特許を出願し、国内は確定、海外も出願予定。
- ・現在、ビジネスモデル特許のデジタル化も推進中。
- ・地域ぐるみの地域資源の回収と活用で、地域ぐるみの脱炭素を具体化し、さらにCO₂削減クレジットを販売し、その収入の一部を自治体に還元できるモデルを開発。「地域連携SDGs活性化プラン」として、自治体に提案している。

<会社基本情報>

【設立年】1999年9月

【資本金】3,000万円

【本社所在地】埼玉県所沢市三ヶ島5-1586

【TEL】042-347-9671

【E-mail】info@kankichikun.com

HP <http://kankichikun.com/>